

# 和氣満堂

真志喜中学校だより  
第5号  
令和7年8月10日

教育目標  
心豊かに 自ら学び たくましく  
国際社会を生きる 生徒の育成  
心を鍛える・頭を鍛える・体を鍛える

## 学び・繋がり・動きだす

### この夏の経験が未来をひらく

夏休みに入って、あっという間に3週間が過ぎました。校内では連日、部活動に励む生徒たちの姿が見られ、日焼けした顔からはたくましさや成長が感じられます。

さて、皆さん、宿題の進み具合はいかがでしょう。私が子どもの頃は、休みの終わりに慌てて仕上げるのが定番でしたが、最近では、前半のうちに計画的に終わらせ、後半は2学期の予習に取り組み生徒も多いと聞いています。素晴らしいです！

とはいえ、夏休みの宿題をすでに終わらせた人も、これから頑張ろうという人も、自分のペースで焦らず、しっかりと取り組んでください。



夏休みは、勉強だけでなく、部活動や地域行事(写真:大山区大綱引)、家族との時間など、学校の外でもたくさんの学びや経験ができる大切な期間です。暑さが厳しい時期でもありますので、水分補給や休息をこまめに取りながら、自分の体と心の声にも耳を傾けて過ごしましょう。

残りの夏休みが、皆さんにとって充実した、実り多い時間になることを願っています。

リーダー研修  
7月31日(金)、生徒会主催によるリーダー研修が開催されました。今年度のテーマは「校則を見直そう！」。各学級や委員会、部活動の代表が、学年を越えてグループを組

み、現在の校則について、4つの観点から活発な議論を交わしました。

まず一つ目は「生まれ持った個性への配慮」。髪の毛の色など、自分では選べない特徴が校則違反とされてきたことに対して、「ありのままを認め合える校則にすべきだ」という声が上がりました。

二つ目は「性や文化の多様性への配慮」。制服や髪型に性別による違いがあることで、「自分らしくいられない」と感じている生徒がいるという現実を、改めて気づかされました。

三つ目は「健康への配慮」。寒い日のジャージ着用や、暑い日・雨天時の体育着登校など、校則が生徒の体や心に負担をかけていないかを問い直す視点も示されました。

四つ目は「合理的な説明が難しい

ルールの見直し」。理由が不明確な決まりについては、「時代に即したルールへと見直す必要があるのでは」という意見が多く出されました。

「誰もが安心して、自分らしく過ごせる学校」をめざして、生徒が主体的に学校づくりに関わる大きな一歩となった今回の研修。参加した皆さん、本当におつかれさまでした。

どのグループも前向きで真剣に意見を交わしており、とても頼もしく思いました。今日の話し合いが、これからの真志喜中をつくっていく土台になると信じています。

### 大阪芸術大学賞受賞！

7月26日



(土)、ミュージックタウン音市場を会場に、第5回全国高校軽音楽部大会「We are SNEAKERS」の予選となる第9回沖縄地区大会が開催されました。

本校の軽音楽部もこの大会に出場し、日頃の練習の成果をステージで存分に発揮しました。

この大会は、高校生を対象としたハイレベルなコンテストで、入賞するのも容易ではありません。そうした中で本校は、演奏力や今後の成長が特に期待される学校に贈られる「大阪芸術大学賞」を受賞しました。審

査員からは、「全国派遣が決まった2位の名護高校とは、わずか1点差だった」との講評もありました。高校生に引けを取らない堂々とした演奏で健闘した軽音楽部の皆さんに、心から大きな拍手を送りたいと思います。

### 市スクールサミット

8月1日(金)、宜野湾市中学生スクールサミットが開催されました。「挨拶あふれる、宜野湾魂で仲間とともにつくる理想郷(ユートピア)」をみんなが行きたい学校」をテーマに、市内4中学校と、今年7月1日に姉妹都市となった山口県岩国市の3つの中学校をリモートでつなぎ、各校の取組紹介や、「みんなが楽しめる学校にするにはどのような工夫があるか」について話し合いました。

本校からも生徒会役員が参加し、積極的に意見交換や発表を行い、非常に充実した時間となりました。他校の良い取組からも多くの学びがあり、2学期以降、誰もが「行きたい」と思える学校を目指して、さらに取り組む決意を新たにしました。

### 8月の主な行事

- 17日(日)真志喜区大綱引き
  - 27日(水)2学期始業式(給食あり)
  - 28日(木)B時間割開始
  - 29日(月)～9月2日(火)教育相談
  - 30日(土)PTA役員親睦レク大会
- ※学校のタブレットを忘れずに！

